

2021 コンテスト総括

優勝もあったものの、まだまだ修行が必要と痛感

JM1LZT 富山俊一

つい先日東京 CW コンテストの結果が発表され、私の 2021 年のコンテストの結果が全て出そろいました。

ALL JA 関東 4 位入賞

東京コンテスト 1 位入賞

6m and down 全国 2 位入賞(JA1ZGX/1)

XPO 記念 全国 2 位入賞

全市全郡 H クラス全国 2 位入賞 M クラス全国 1 位入賞

東京 CW 3 位入賞

多摩川 流域外電信・電話 2 位入賞

マルチオペオールバンドの 6m and down と多摩川は電信・電話、その他は全て 50MHz CW で参戦しました。

何とか全て入賞出来ました。また、なんと言っても全市全郡でついに M クラスで全国 1 位になれたことは、素直に嬉しい出来事でした^^

何度もご紹介してきたように、この 10 年以上、フィールドデー以外の JARL 主催のメジャーコンテストの 50MHz CW 部門は「絶対王者」の方がいらっしやり、私なんかには勝ち目はありません。そこで今年は「全国 2 位を(そして出来れば M クラスの全国 1 位を)全力で獲りにいく」を目

標に、ALL JA、全市全郡に臨み、遂にどうにかこうにか全市全郡で達成出来たというわけです。様々な形でサポートいただいた 240 各局、本当にありがとうございました。



全市全郡 2021@八王子

昨年それまでに対し改善点があったとしたら、7 エレアンテナの導入でしょうか。3 年前に 4 エレ HB9CV で始めたコンテストライフですが、1 年目の途中で 6 エレを導入。しばらくはその 6 エレ 1 本でやってましたが、より広いエリアをカバーするために 4 エレ、6 エレの併用に移行。マストも 9m に加えて 11m を導入。昨年の全市全郡からは 6 エレ/7 エレの 2 本体制に。しかしアンテナの大型化と高さ増により、必然的にステーを張ることになってしまいました。結果タイヤベースで単純に上げる場合の倍以上の手間がかかるようになってしまい、体力の衰え著しい私にはなかなかキビシイ状態になってしまいました^^;

もちろんハードの充実は結果にダイレクトに反映され、全市全郡の結果はもちろん、他のコンテストでも明らかにプラスに作用したと思います。しかし、物事何でも表と裏があるわけで、利得のあるアンテナ＝指向性がより強いアンテナは、ブロードな特性のアンテナの時に比べ、「より適確な状況判断とアンテナの回転(とアタマの回転)」が必要となり、いよいよ己のオペレーション能力が問われることに。単純にグラウンドウェーブでやっている時はともかく、E スポの早期発見や、スキッターの発見とその際の適確なビーム方向の選定は、まだまだ改善の余地ありまくりだと思います。

「移動しての 50W」という制約の中で、「大出力大型アンテナの固定局にひよっとしたら対抗し得る」ことが魅力で 50MHz の CW にしがみついています。が、まだまだ研究が足りないと思うことばかりです。

みなさんご存知の通り、平日の日中は「静かすぎる」50MHz ですが、コンテストとなると毎回大変な賑わいです。体感的に 7MHz の次ぐらいに混んでるなあ…とは思っていましたが、昨年の全市全郡のログ提出局数を見て納得。なんと 186 局の 7MHz を抜き 209 局でバンド別では参加者数 1 位に。驚きです。240 グループがそうであるように、50MHz には根強いファンがまだまだ多数いらっしやるようで、心強い限りです♪また同時に、激戦区であるからこそ、やり甲斐もあると再確認。

4 月には今年のメジャー第一弾 ALL JA が控えています。今回も「全力で全国 2 位(M クラス 1 位)を獲りにいく」を合言葉に、やれるとこまでやってみようと準備を始めたり始めなかつたりしているところです。